

## 例2 (テーマ) 創造主の導き / [手法] みことばや典礼の言葉を用いて

参照箇所: 『ラウダート・シ』65~77

『見よ、それはきわめてよかった』48~53



みことばや典礼の言葉を用いて祈り、創造主の導きを味わいましょう。

ここでは詩編 19 を用いますが、季節や共同体の歩みに合わせて自由にことばを選んでください。

### ふりかえりの材料 (例)

詩編 8、詩編 19、詩編 65、詩編 104、詩編 148

創世記 1 章 1~25 節

叙唱 (年間主日 四 —— 創造のみわざ) (『ミサの式次第 (2022 新版)』)

第四奉献文 (『ミサの式次第 (2022 新版)』、『見よ、それ』81-83 頁)

## 個人のふりかえり

### ステップ 1 (15~30 分)

- 祈りの雰囲気を保てる場所を選び、沈黙をもって準備します。
- 詩編 19 篇を読む。
- 心に留まった言葉がありますか。感覚や言葉が自分に投げかけてくるものを味わいます。

### ステップ 2 (5~10 分)

- ステップ 1 の時間を過ごし、どのような味わいがあったかふりかえります。
- 気づきを自分のうちにとどめ味わいます。

➔ 個人のふりかえりのみ行う場合、最後に心から湧いてくる祈りをささげましょう。

## 分かち合い

### ステップ 3 (1 回目の分かち合い、グループの大きさによって時間を調整する)

- 次のような質問を参考に、ステップ 1 とステップ 2 で体験したことを分かち合いましょう。
  - ・詩編のどの言葉が心に留まりましたか。それはなぜですか。

### ステップ 4

- 他の人が分かち合ってくれたことを沈黙のうちに味わいます。

### ステップ 5 (2 回目の分かち合い)

- 次のような質問を参考に、ステップ 1 とステップ 2 で味わったことを分かち合いましょう。
  - ・自分の気づきと他の人の気づきを通して、神はわたしたちに何を語りかけていますか。
  - ・創造主である神は、わたしたちをどのように導いてくださっているのでしょうか。

### ステップ 6

- 最後にもう一度沈黙の時間をもった後、祈りをささげましょう。

参考: 「わたしたちの地球のための祈り」(『ラウダート・シ』208 ページ)

「被造物とともにささげるキリスト者の祈り」(『ラウダート・シ』210 ページ)